



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 寺崎電気産業株式会社
 コード番号 6637 URL <http://www.terasaki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺崎 泰造
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室室長 (氏名) 周藤 忠
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6791-2701

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	26,687	2.4	1,518	89.9	1,788	39.6	1,153	2.0
2019年3月期第3四半期	26,058	5.1	799	55.3	1,281	30.9	1,176	8.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 679百万円 (3.3%) 2019年3月期第3四半期 657百万円 (72.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	88.55	
2019年3月期第3四半期	90.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	45,826	30,567	66.6	2,343.33
2019年3月期	44,749	30,071	67.1	2,305.18

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 30,531百万円 2019年3月期 30,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		14.00	14.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,780	4.2	2,170	61.6	2,270	18.0	1,610	23.1	123.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	13,030,000 株	2019年3月期	13,030,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,021 株	2019年3月期	1,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	13,028,979 株	2019年3月期3Q	13,028,979 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、総じて成長が減速基調となりました。米国では、通商政策の影響から輸出や設備投資が弱含みとなるも、堅調な雇用・所得から成長が持続しました。欧州では、輸出や生産の減速などから景気は足踏みとなりました。英国も、EU離脱による先行き不透明感の影響もあり低成長が続きました。中国では、内需や輸出を中心として緩やかな減速傾向が見られました。その他の新興国についても、成長が鈍化しました。一方、わが国経済は、良好な雇用・所得が個人消費を下支えしたことから、自然災害や消費税率変更による一時的な影響はあるものの、底堅く推移しました。

当社グループをとりまく経済環境は、国内において、合理化・省力化を目的とした設備投資に加え、デジタル化に向けた非製造業による設備投資が増加しました。一方、海外においての設備投資は、総じて弱い動きとなりました。

当社の主要顧客である造船業界においては、2020年1月から強化された海洋環境規制に対応するための工事が増加しましたが、貿易摩擦等の影響により新造船受注が低調に推移したことから厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）の陸電供給システム及びLNG船、並びに機器製品（低圧遮断器等）が減少したものの、中国の船舶用システム製品及び海洋環境規制関連が増加したことにより、26,687百万円と前年同期比2.4%の増加となりました。営業利益は1,518百万円と前年同期比89.9%の増益、経常利益は1,788百万円と前年同期比39.6%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用の増加により1,153百万円と前年同期比2.0%の減益となりました。

製品別の売上高は、システム製品（配電制御システム等）が14,574百万円と前年同期比5.8%の増加、機器製品が12,112百万円と前年同期比1.4%の減少となりました。

システム製品の受注高は、船舶用システム製品及び産業用システム製品（産業用配電制御システム等）の海外プラント向けが減少したことにより、前年同期を0.7%下回る15,474百万円となるものの、受注高が売上高を上回ったことから、受注残高は前連結会計年度末より899百万円増加し、18,039百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、上記受注高、受注残高には含めておりません。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

「日本」

船舶用システム製品は、海洋環境規制関連製品及びコンテナ船が増加したものの、陸電供給システム及びLNG船が減少したことにより、売上は前年同期と比べ減少しました。

産業用システム製品は、国内及び海外プラント向け等が減少したことにより、売上は前年同期と比べ減少しました。

メディカルデバイスは、医療機器及び臨床検査機器ともに堅調に推移し、売上は前年同期と比べ増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、海洋環境規制関連工事及び産業向けエンジニアリング案件が堅調に推移し、売上は前年同期と比べ増加しました。

その結果、システム製品全体の売上は前年同期と比べ若干減少しました。

機器製品は、国内向けがやや低調に推移、海外向けは東アジア地域及びオセアニア地域が増加したものの、西アジア地域等が減少したことにより、売上は前年同期と比べ若干減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は16,354百万円と前年同期比2.9%の減少、セグメント利益は1,273百万円と前年同期比58.7%の増益となりました。

「アジア」

船舶用システム製品は、堅調に推移し売上は前年同期と比べ増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、堅調に推移し売上は前年同期と比べ増加しました。

機器製品は、マレーシア国内向けが低調に推移したことにより、売上は前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は7,344百万円と前年同期比20.7%の増加、セグメント利益は847百万円と前年同期比52.1%の増益となりました。

「ヨーロッパ」

機器製品は、英国内で若干増加し、西欧州及び中近東地域も堅調に推移しましたが、為替の影響により売上は前年同期と比べ減少しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、堅調に推移し売上は前年同期と比べ増加しました。

その結果、当セグメントの売上高は2,988百万円と前年同期比4.5%減少したものの、セグメント利益は101百万円と前年同期比9.7%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、受取手形及び売掛金が前期末比1,037百万円減少した一方、たな卸資産が前期末比1,478百万円増加したこと等により、流動資産は前期末比976百万円増の33,546百万円となりました。固定資産では、退職給付に係る資産が前期末比94百万円及び投資有価証券が前期末比120百万円それぞれ減少した一方、有形固定資産が前期末比373百万円増加したこと等により、前期末比100百万円増の12,279百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比1,076百万円増の45,826百万円となりました。

負債の部では、未払費用が前期末比254百万円及び1年内返済予定の長期借入金が前期末比164百万円それぞれ減少した一方、支払手形及び買掛金が前期末比311百万円、電子記録債務が前期末比184百万円及びその他の流動負債が前期末比385百万円それぞれ増加したこと等により、流動負債は前期末比310百万円増の12,856百万円となりました。固定負債では、長期借入金が前期末比232百万円減少した一方、その他の固定負債が452百万円増加したこと等により、前期末比270百万円増の2,402百万円となりました。

その結果、負債合計は前期末比580百万円増の15,259百万円となりました。

純資産の部では、為替換算調整勘定が前期末比287百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,153百万円計上したこと等により利益剰余金が前期末比971百万円増加したことから、純資産合計は前期末比495百万円増の30,567百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありませんが、今後、新型コロナウイルス感染症等による影響が懸念されます。適時開示が必要な場合には、速やかに公表してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,368,165	11,717,384
受取手形及び売掛金	12,731,793	11,694,039
商品及び製品	3,631,439	3,871,506
仕掛品	2,496,588	3,792,957
原材料及び貯蔵品	2,090,174	2,032,348
その他	527,110	680,375
貸倒引当金	△274,752	△241,966
流動資産合計	32,570,519	33,546,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,468,460	8,468,033
減価償却累計額	△3,815,023	△4,009,789
建物及び構築物 (純額)	4,653,436	4,458,243
機械装置及び運搬具	6,218,285	6,237,763
減価償却累計額	△5,302,289	△5,412,072
機械装置及び運搬具 (純額)	915,995	825,690
工具、器具及び備品	7,661,228	7,629,832
減価償却累計額	△7,216,628	△7,245,917
工具、器具及び備品 (純額)	444,599	383,914
土地	2,734,440	2,706,699
リース資産	71,177	767,296
減価償却累計額	△66,802	△142,711
リース資産 (純額)	4,375	624,585
建設仮勘定	185,071	311,912
有形固定資産合計	8,937,919	9,311,045
無形固定資産		
その他	165,337	129,365
無形固定資産合計	165,337	129,365
投資その他の資産		
投資有価証券	419,252	298,765
退職給付に係る資産	2,069,610	1,975,145
繰延税金資産	356,779	335,329
その他	1,265,208	1,264,539
貸倒引当金	△1,034,690	△1,034,703
投資その他の資産合計	3,076,161	2,839,075
固定資産合計	12,179,418	12,279,486
資産合計	44,749,938	45,826,131

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,462,786	3,774,434
電子記録債務	3,194,492	3,378,582
短期借入金	480,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	1,952,380	1,788,380
未払法人税等	456,836	300,271
未払費用	1,752,682	1,497,773
製品保証引当金	77,072	81,368
その他	1,170,127	1,555,584
流動負債合計	12,546,377	12,856,394
固定負債		
長期借入金	907,360	674,825
繰延税金負債	417,503	432,932
退職給付に係る負債	517,746	552,674
その他	289,309	742,189
固定負債合計	2,131,920	2,402,622
負債合計	14,678,297	15,259,016
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	25,947,177	26,918,437
自己株式	△1,433	△1,433
株主資本合計	29,427,033	30,398,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,055	55,695
繰延ヘッジ損益	—	2,331
為替換算調整勘定	△284,576	△572,349
退職給付に係る調整累計額	793,625	647,174
その他の包括利益累計額合計	607,104	132,852
非支配株主持分	37,501	35,968
純資産合計	30,071,640	30,567,114
負債純資産合計	44,749,938	45,826,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	26,058,544	26,687,317
売上原価	19,078,346	19,399,527
売上総利益	6,980,197	7,287,789
販売費及び一般管理費	6,180,744	5,769,468
営業利益	799,453	1,518,321
営業外収益		
受取利息	96,706	99,472
受取配当金	11,619	11,968
為替差益	365,191	147,781
その他	46,972	60,102
営業外収益合計	520,489	319,324
営業外費用		
支払利息	15,817	26,788
貸倒引当金繰入額	21,804	—
デリバティブ評価損	—	21,813
その他	1,086	564
営業外費用合計	38,708	49,165
経常利益	1,281,234	1,788,479
特別利益		
固定資産売却益	208,911	264
投資有価証券売却益	—	80,239
特別利益合計	208,911	80,503
特別損失		
固定資産除却損	316	5,879
投資有価証券評価損	—	43,694
減損損失	—	27,594
特別損失合計	316	77,168
税金等調整前四半期純利益	1,489,829	1,791,815
法人税、住民税及び事業税	344,461	526,589
法人税等調整額	△30,843	111,593
法人税等合計	313,618	638,182
四半期純利益	1,176,210	1,153,632
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△437	△33
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,176,648	1,153,666

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,176,210	1,153,632
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,531	△42,360
繰延ヘッジ損益	—	2,331
為替換算調整勘定	△345,669	△287,773
退職給付に係る調整額	△99,111	△146,451
その他の包括利益合計	△518,312	△474,252
四半期包括利益	657,898	679,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	658,335	679,413
非支配株主に係る四半期包括利益	△437	△33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの在外連結子会社において、国際財務報告基準第16号「リース」を第1四半期連結会計期間より適用しております。

これに伴い、借手としてのリース取引について、原則すべてのリースについて使用権資産及びリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置に従っており、過去にオペレーティング・リースとして分類していたリースについて、第1四半期連結会計期間の期首に使用権資産とリース負債を認識しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産が618,461千円、流動及び固定負債のその他が631,145千円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	
売上高				
外部顧客への売上高	16,845,384	6,085,382	3,127,777	26,058,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,313,917	2,206,077	8,560	5,528,555
計	20,159,302	8,291,459	3,136,338	31,587,100
セグメント利益	802,562	556,994	92,500	1,452,057

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,452,057
セグメント間取引消去	17,627
全社費用(注)	△670,231
四半期連結損益計算書の営業利益	799,453

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	
売上高				
外部顧客への売上高	16,354,199	7,344,891	2,988,226	26,687,317
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,723,558	2,923,151	9,755	6,656,464
計	20,077,757	10,268,042	2,997,981	33,343,782
セグメント利益	1,273,275	847,040	101,477	2,221,792

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,221,792
セグメント間取引消去	△32,753
全社費用(注)	△670,718
四半期連結損益計算書の営業利益	1,518,321

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。